

住吉台中学校区 学校支援地域本部だより

～住吉台小学校★住吉台中学校～
平成25年度版 NO.2

発行 住吉台中学校区
学校支援地域本部
連絡先 080-1816-9979
宮本・佐藤
平成25年6月26日発行



今年度、学校支援地域本部では中学校からの依頼により部活動の指導をしてくださるボランティアを地域の方にお願ひしました。

★ 剣道部 ★

剣道部の指導をしていただいているのは、有馬司さんです。有馬さんは住中剣道部出身で、今も大学で剣道を続けています。

部員たちと年齢が近いため、練習も先輩からの指導を受けている後輩といった雰囲気です。またその人柄は保護者からの評判も上々だそうです。

3年生の引退後、剣道部員は2名となりますが、引き続き指導を続けていただけるとのことです。



★ ソフトボール部 ★

ソフトボール部の指導には住吉台在住の橋場和子さんにお願ひしました。橋場さんは宮城県のソフトボールチームに所属する現役選手です。

ソフトボールの指導だけでなく、住中のグラウンド状態も気にかけて、自ら整備をしてくださることもありました。

先日の中総体では橋場さんがコーチとしてベンチに入り、熱い指導をしてくださいました。

中総体終了後、部員は1チームに達しない人数になりますが、橋場さんには最後まで指導を続けていただけるとのことです。





小学校



★オオムラサキクラブ★

4月に一度、泉ヶ岳に幼虫を放しましたが、ハウスの中では予想以上の数の幼虫が育っていました。エノキの葉の数にみあった幼虫の数を飼育するため、今回も地域の「オオムラサキの舞うふる里を育てる会」の千葉さんと加藤さんにお手伝いいただき、泉ヶ岳に幼虫を放しに行きました。その数なんと305匹！それでも、まだハウスには100匹近く残っていました。そのうちの50匹は南門のそばのエノキに移しネットをかけて育てることにし、50匹をハウスに残しました。

今年から、オオムラサキクラブには2年生以上が参加できることになり30人以上が加入。現在、幼虫は続々とサナギになり始め、6月下旬から7月上旬にはサナギから蝶になる姿を楽しむことができるでしょう。



成虫になったオオムラサキには、クラブ員が交代でバナナの餌（乳酸菌飲料と黒蜜入り）を与えるそうです。



また、6月16日（日）、西2丁目集会所の前にある「オオムラサキハウス」に奥山恵美子市長がお見えになりました。千葉さんの説明を聞きながら、「国蝶のオオムラサキの幼虫を見るのは初めてです。地域と一緒に特色のある学校教育を進めてください。」とおっしゃっていました。

7月6日（土）9時から、その「オオムラサキハウス」で「ミニ飛蝶祭」が行われます。是非、足をお運びください。（雨天時、翌7日（日））

★6年生 宮沢賢治の読み聞かせ★



6月27日～28日、1泊2日で6年生が岩手方面に修学旅行に行きます。その修学旅行を前に、「社会学級読み聞かせボランティア」の方が岩手県に縁のある「宮沢賢治」の作品を6年生の3クラスで読んでくださっています。

「狼森と策森、盗森（おいのもりとざるもり、ぬすともり）」と「雪わたり」の二作品です。

どちらも読み聞かせるには20分以上かかる作品であり、「宮沢賢治」の作品なので、なかなか難しい点もあるそうです。読み手の庄司さん、濱岡さんもかなり練習に時間を割かれたそうですが、そんな想いも伝わるのか、6年生はしっかりと聞き入っていました。

